

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 相模原市立大沢保育園

発効：平成 21 年 3 月 25 日（平成 24 年 3 月 24 日まで有効）



社団法人神奈川県社会福祉士会
福祉サービス第三者評価

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

事業所基本事項

フリガナ	カミラシツ 材物ホイク
事業所名 (正式名称を記載)	相模原市立 大沢保育園
事業所住所 最寄駅	〒229-1136 神奈川県相模原市上九沢383-3 JR 横浜線橋本駅より神奈川中央バス大沢出張所下車
事業所電話番号	042-761-0380
事業所 FAX 番号	042-762-9985
事業所代表者名	役職名 園長 氏名 能勢園枝
法人名及び 法人代表者名	運営主体名 相模原市 代 表 者 相模原市長
e-mail	
問合せ対応時間	

事業所の概要 1

開設年月日	昭和51年5月1日
定員数	120名(乳児定員24名)
都市計画法上の用途地域	
建物構造	鉄筋コンクリート造り一部2階建て
面積	敷地面積(1707)㎡ 延床面積(716)㎡

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	40名 (常勤23名・非常勤17名)
うち、次の職種に該当する職員数	施設長(1名) - (常勤1名) 保育士(30名) - (常勤19名・非常勤11名) 保健師・看護師(0名) 栄養士(0名) その他(事務員等2名) - (常勤1名・非常勤1名) (調理員 7名) - (常勤2名・非常勤5名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後2ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	有	備考：平日 18時から 19時まで
休日保育の実施	無	備考：
一時保育の実施	無	備考：
障害児保育の実施	有	備考：専門機関と連携を取りながら受け入れている
病後児保育の実施	無	備考：

保育の方針

「意欲と思いやりのある子ども」を育てる事を目標にしております。

社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

1. 総合コメント

総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

優れている点・独自に工夫している点：

3～5歳児は、園庭、園内で自由に遊んでもらい、異年齢交流を行っている。一人ひとりの順調な発育を促すため、保育士が連携し、関わり方を話し合いの中で検討している。乳児クラスは、曜日を決めてオープン保育を行っている。乳児クラスは家庭的な雰囲気을大事にして、落ち着いた空間で過ごすことができるよう配慮し、少人数の保育を行っている。

ランチルームでの異年齢交流では、年下の子にルールを教えたり、年上の子の行動に刺激を受けたりして、関係が深まっている。

自然に恵まれた環境を活かし、乳幼児クラスとも、近くのはらっぱや農道へ散歩に出掛けている。

園周辺のヒヤリハットマップを作成し、事務室内に掲示して、事故等が起こらないよう配慮している。散歩を兼ねて、近くの小学校や公民館に出掛けていくことも多い。

青虫を育て、サナギ、蝶になるまでを観察し、命の大切さや思いやりを育てている。また、プランターや花壇で、植物の栽培を行い、生長や変化に気付くよう取り組んでいる。収穫した野菜は、クッキングの材料として使用している。

5歳児を中心にして、ランチルームにて、テーブルを並べたり、食べ物ポケット（毎日の献立を見ながら、血や肉になる食べ物、骨になる食べ物、身体の調子を整える食べ物と言いながら、3色のカードを当番の子どもがボードに付ける）を担当したりして当番活動を行い、役立つ喜びを感じられるようにしている。

クッキングでは、クラスとは別に、縦割りの5グループがある。グループ毎にバッジを用意し、4～5歳児は包丁も使っている。

地域の子育て支援として、年間を通して園庭を開放している。地域交流や体験保育、親子サロン等の活動を行っている。近隣の保育園と合同で、育児講座を行っている。

各年齢別に、季節を感じられる年間の歌の内容を決めている。手遊び紹介の掲示物で、歌の内容を保護者にも伝えている。また、保護者への情報提供は、ホワイトボードだと前日までの情報が消えてしまうため、何日分かを紙で綴るようになっている。時間帯によって、掲示場所を変え、保護者の多くが確認できるよう工夫している。

評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	園児や保護者に対する適切な言葉遣いや態度については、「大沢保育園保育マニュアル」に定め、職員会議等により共通認識をもち、保育に取り組んでいる。外国籍の保護者には、英語版の行事予定表を用意したり、配布物にルビをふるなど、個別の対応を日頃から心がけている。相模原市個人情報保護条例が制定されており、職員会議等での周知や園内に個人情報保護に関するパンフレットを掲示し、職員の意識の徹底をはかっている。また、実習生やボランティア、見学者の受け入れにあたっては、受け入れマニュアルを整備し、プライバシーの保護について説明するなどして、徹底をはかっている。
---	--------	--

2	<p>利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援</p>	<p>家庭との連絡・情報交換は、マニュアルで手段、方法等を定め、連絡帳や「すすくカード」、園だより、クラスだよりのほか、各クラスのボードにより、連絡を密にしている。保護者への掲示物は、ホワイトボードだと前日の内容が消えてしまうため、何日分かを紙で綴るようになっている。また、1日の中で掲示場所を変え、保護者の多くが確認できるように工夫している。</p> <p>懇談会は年2回実施している。個別面談は進級時に行っているが、希望があれば、随時行い、意見、意向を聞いている。保育ウィーク、公開保育は保護者に保育園での様子を見てもらう機会とし、保護者参加の行事の後には、アンケートを実施している。また保護者が意見や要望等を出しやすいように「メッセージボックス」を設置し、日頃から保護者の希望や意向の把握に努めている。</p>
3	<p>サービスマネジメントシステムの確立</p>	<p>子どもが触れるおもちゃ、タオル、布団、砂場等の物品の除菌・消毒、遊具の安全保持の管理については、「園児健康管理マニュアル」、「安全チェックリスト」に管理方法等を定め、点検実行記録をつけて、衛生面、安全面の管理に努めている。</p> <p>防犯・防災対策については、防犯訓練、避難訓練を実施し、職員会議で反省と見直しを行っている。不審者対応については、外部講師を依頼して自主研修を行っている。また、災害等の発生時に備え、関係機関との情報交換のほか、市内の「公私立保育園緊急連絡網」により情報伝達訓練を実施している。</p>
4	<p>地域との交流・連携</p>	<p>地域の子育て家庭向けに、地域活動年間予定表を作成、配布し、「ミニ運動会」、「プチトマト」等の交流事業や保育園行事への参加を呼びかけている。年間を通して園庭を開放し、絵本や紙芝居の貸し出しも行っている。また、近隣の保育園と合同で「おれんじきっず」等の育児講座を開催している。</p> <p>地域の様々な人々とのふれあいや世代間交流の機会として、地域の小学校や公民館に出掛け、世代を超えた関わりを楽しみ合えるようになっている。</p>
5	<p>運営上の透明性の確保と継続性</p>	<p>各行事の反省をして、次年度につなげている。保護者参加の大きな行事はアンケートを実施し、保護者の意見・感想なども参考にしている。職員会議、乳幼児会議等で、反省点、改善点について話し合いを行っている。自己評価の結果から、送迎時の駐車場の混雑緩和に職員が入って整理を行ったり、保育計画の見直しを行ったり、室内臭気改善のための配管清掃を行なったりしている。</p> <p>保育園の運営や事業内容について、地域からの理解が得られるよう、地域の方に向けて、園パンフレット等を用意している。また、保護者に保育園での子どもの様子を見てもらう機会として、保育ウィーク、公開保育を年間行事予定表などで情報提供している。</p>
6	<p>職員の資質向上促進</p>	<p>保育理念や方針については、入園のしおり、「大沢保育園保育マニュアル」に掲載するほか、保育目標を園内に掲示し、職員会議で周知して基本姿勢の共有化をはかっている。</p> <p>市保育課による保育所職員研修計画に基づき、内外研修を実施・受講している。研修成果の共有のため、受講後は、職員会議にて研修報告を行うとともに、復命書を作成して職員がいつでも閲覧することができるようにしている。園内自主研修は、年度当初、職員にアンケートをとり、年間計画を立てている。保育所保育指針、手作りおもちゃ、第三者評価などの研修を計画した。</p>

2. 評価項目に基づく評価の結果

大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

大項目 1 全体 （調査確認事項全 81 事項） を通してのサービスの達成状況	100%
---	-------------

大項目 1 の内容 (概要)

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い 出生や国籍、性差などによる差別の禁止 子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮 個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との 信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制 家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理 洗剤等の危険物の管理 おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理(感染症対策・ 救急救命を含む)	体調不良児、けがへの対応 感染症への対応 救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理(防災・防犯)	火災や震災等の対応 日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施 地域への情報提供、情報開示 見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施 実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士との かかわりにおいて、子 どもの情緒の安定をは かることや、順調な発 育・発達を促すため にどのような取り組み をしていますか</p>	<p>情緒の安定を図るため、一人一人の状況に 合わせた対応をしている。</p> <p>一人一人の順調な発育を促すため、職員が 連携を取り合いオープン保育を行なっ ている。</p> <p>子どもが安心して園生活を送ることが できるように、落ち着いた空間で少人数の保 育を行なっている。</p>	<p>一人ひとりの子どもの気持ちや状 況は、毎日変わるので、保育士が 声掛けし合って関わっている。関 わり方は自主研修等で検討してい る。(保育日誌で確認した。) 3～5歳児は、園庭、室内で自由 に遊んでもらい、異年齢交流を行 っている。乳児クラスは、曜日 を決めてオープン保育を行ってい る。関わり方は、会議等で周知し ている。(オープン保育の様子や、 保育日誌、幼児会議録で確認し た。) 乳児クラスでは、家庭的な雰囲気 を大事にして、落ち着いた空間で 過ごすことができるよう配慮して いる。(保育室の様子や、保育日誌 で確認した。)</p>
<p>子ども同士のかかわ りにおいて、個の違い を認めあうことや他者 と自分を大切にす る心をもてるよう にするためにどの ような取り組み をしていますか</p>	<p>異年齢で刺激を受け合う中で、相手を認め 合えるような言葉がけを行なっている。</p> <p>子ども一人一人の気持ちを十分に受けと め、安心してすごせる環境づくりをして いる。</p> <p>要支援児との関わりの中で、個の違いを認 め合うことができるよう職員が仲立ちを したり、工夫した声かけをしている。</p>	<p>合同保育に保育士も加わり、異年 齢の子どもたちが楽しめるよう声 掛けしている。オープン保育だけ でなく、クラス保育も週案に入れ、 取組んでいる。(オープン保育の様 子や、保育日誌で確認した。) 子ども同士のトラブルも多いの で、保育士が中に入り、子ども たちが自分で考えられるように、学 びの場としている。(保育日誌で確 認した。) 2名の支援が必要な子どもがい る。保育士が自然な関わりをして、 子どもたちのモデルになれるよう な関わりをしている。(保育日誌で 確認した。)</p>
<p>子どもと社会とのか かわりにおいて、人 に役立つことの喜びを感じ たり、人と関わるこ との楽しさを味わうこと ができるようにする ためにどのような 取り組みをして いますか</p>	<p>当番活動を通し役だつ喜びを感じるよう に取り組んでいる。</p> <p>来園した地域の親子とともに、遊びを通し 触れ合いを喜んだり立場を考えた関わり を楽しむ。</p> <p>小学校や公民館で世代を超えて関わり、楽 しみ合える経験をしている。</p>	<p>5歳児を中心にして、ランチル ームにて、テーブルを並べたり、食 べ物ポケットを担当したり、当番 活動を行っている。(ランチル ームの様子や、写真で確認した。) 園庭は毎日、地域に開放し交流し ている。2歳児を中心にして、月 1回の体験保育がある。(体験保 育日誌で確認した。) 散歩を兼ねて、こちらから出掛け ていくことが多い。地域との交流 の中で、あいさつが自然とでき るようになった。(写真で確認した。)</p>

<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>くり返しのある絵本や紙芝居を読んだり、あそびの中で言葉のやりとりが楽しめるような場を設定している。</p> <p>関わる物の名称や色、他児とのやりとりに必要な言葉を伝え、取り組んでいる。</p> <p>お店やさんごっこを通して買い手、売り手となり、その役割に合った言葉のやりとりを楽しんでいる。</p>	<p>絵本のコーナーは、各保育室にある。食事やおやつの前に絵本等の読み聞かせをし、言葉のやりとりが楽しめるようにしている。(絵本等のコーナーの様子や、保育日誌、連絡帳で確認した。)</p> <p>乳児クラスでは、保育士が仲介役になって、やりとりに必要な言葉を実際に言ってみる。(保育日誌や、連絡帳で確認した。)</p> <p>保育ウィークでは、3～5歳児の縦割りの中で、「お店やさんごっこ」の準備から当日の役割までを行った。(保育日誌や、写真で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>紙芝居、パネルシアターを通して、聞く力をつけ楽しんでイメージすることができるようになっている。</p> <p>言葉あそびを通し、考えて言葉に表したり、相手に伝える喜びを味わえるようにしている。</p> <p>子どもが発した言葉にじっくりと耳を傾けたり、上手く言葉で表現しきれないところを保育士が具体的に表すことで相手への伝え方を知る。</p>	<p>紙芝居やパネルシアターは、各クラス内容が異なるが、毎日、何らかのプログラムがある。(保育日誌や、写真、保育計画で確認した。)</p> <p>伝言ゲームやしりとり、言葉あそびを行い、言葉がスムーズに出てくるような取り組みを行っている。(オープン保育年間計画や、保育日誌で確認した。)</p> <p>言葉が出にくい部分を保育士がフォローしている。乳児クラスでは、声掛けをし、丁寧に訂正し、小さい一言を大事にしながら、保育士がフォローしている。(保育日誌や、連絡帳で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>歌を歌う楽しさを味わい、リズム遊びや楽器遊びを通して、表現したい気持ちを育んでいる。</p> <p>泥遊びができるように水を用意したり、色水ができるようオシロイ花を植え表現できるように取り組んでいる。</p> <p>笑顔で話しかけスキンシップをはかり、大人を信頼できるように接している。</p>	<p>年間計画に表現(音楽)を入れ、子どもの「旬」の歌を取り入れている。お楽しみ会では、楽器演奏を行い、4～5歳児は、ピアノを自由に使えるようにしている。(保育マニュアルや、保育日誌等で確認した。)</p> <p>砂場の近くに、皿を置いている。泥遊びは冬場も行えるようにしている。(園庭の様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>保育目標に、笑顔で話しかけ、スキンシップを十分に図り、大人を信頼できるように接することをあげ、常にスキンシップを図ることを心掛けている。(保育マニュアルや、月指導計画等で確認した。)</p>

<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなと一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>自分で好きな遊びを選択し、ブロックや制作コーナーなどで自発的、創造的な表現ができるよう取り組んでいる。</p> <p>運動会や発表会を通じてみんなと一緒に表現する喜びを味わえるように取り組んでいる。</p> <p>創造が膨らむような遊びを提供し、ごっこ遊びやお店屋さんごっこで役を演じることを楽しめるよう取り組んでいる。</p>	<p>4～5歳児には、ブロック、絵本、おままごと、製作のコーナーを用意している。オープンの制作コーナーでは、ツリー、リース作りを1ヶ月間かけて自由に行っている。(オープン保育や、コーナーの様子、保育日誌等で確認した。)</p> <p>運動会は、小学校の体育館で行っている。(保育日誌で確認した。)</p> <p>お店やさんごっこでは、乳児クラスも参加し、売り手などの役割を演じている。劇で使用した大道具は、ままごとコーナーにあり、劇ごっこで使われている。(保育日誌で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>誕生会に参加し、見たり聞いたりして感じる心を育てよう取り組んでいる。</p> <p>体操や手遊び、リズム遊びが楽しめるよう、年齢にあわせたものを選んでいる。</p> <p>のりやハサミ、折り紙を年齢に応じ自由に表現できる環境作りをしている。</p>	<p>月1回の誕生会は、全園児が参加し、皆で祝っている。保育ウィークには、人形劇も行なった。(誕生会反省記録や、保育日誌等で確認した。)</p> <p>手遊び、リズム遊びは、いろいろな場面でやっている。体操は、クラスに関係なく、園庭で行っている。(月指導計画や、保育日誌で確認した。)</p> <p>4～5歳児は自由に、3歳児は手渡しで、道具箱を使っている。今年度は、ハサミを自由に使えることを計画に入れている。(保育室や、教材置き場の棚の様子、保育日誌等で確認した。)</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>身近な生き物を飼育・観察し、命の大切さや思いやり、優しさを育てている。</p> <p>プランターや花壇で、植物の栽培を通して、生長や変化に気付くよう取り組んでいる。</p> <p>散歩を通して、四季の移り変わりに気づいたり、自然物で遊びながら、自然への興味・関心を高められるよう取り組んでいる。</p>	<p>青虫を育て、サナギ、蝶になるまでを観察し、命の大切さや思いやりを育てている。サワガニやかぶと虫の飼育も行っている。(月指導計画や、保育日誌で確認した。)</p> <p>アサガオを育てたり、ナスやピーマンを栽培している。水やりを行い、クッキングの材料として使用している。(保育日誌や、写真等で確認した。)</p> <p>自然に恵まれた環境を活かし、農道などの散歩を行っている。園近辺のヒヤリマップを作成し、事故のないよう努めている。(ヒヤリマップの掲示や、保育日誌等で確認した。)</p>

<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>米、なす、インゲン等の世話を通し栽培物の生長に関心を持ち、収穫を楽しんだり食する喜びを味わうようにしている。</p> <p>クッキングや手伝いなどを通して思考力や行動力、社会性などの発達を促している。</p> <p>トイレトレーニングは自ら行こうという気持ちを育めるような声かけや環境作りをし、安心していけるようにしている。</p>	<p>地域や農協の協力で、サツマイモ掘りも行っている。土いじりに親しみ、収穫を楽しんでいる。(年間指導計画等で確認した。)</p> <p>クッキングでは、縦割りの5グループがある。グループのバッジもある。4～5歳児は包丁も使っている。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>乳児クラスでは、トイレには保育士が必ずつくようにしている。子どもの様子をみながら、ほめたり声掛けしている。あんばんまんやシャベルカーの絵をつけるなどの工夫もしている。(トイレの様子や、保育日誌で確認した。)</p>
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解できるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>指先を使った遊びの中で、衣服や靴の着脱への意欲をもてるような取り組みをしている。</p> <p>紙芝居、掲示物などを通して、自分の体に関心を持ち食べることや生活リズムの大切さを子どもたち自身が気付いていけるようにしている。</p> <p>生活習慣に関する情報を発信し、家庭と協力して習慣を身につけられるようにしている。</p>	<p>箸を遊びの中に取り入れたり、パジャマのボタンや靴の着脱が自分でできるような取り組みを行っている。(年間指導計画等で確認した。)</p> <p>食べ物ポケット<毎日の献立を見ながら、血や肉になる食べ物、骨になる食べ物、身体の調子を整える食べ物と言いながら、3色のカードを当番の子どもがボードに付ける>を活用することで、身体や健康に興味をもてる取り組みを行っている。(ランチルームの様子や、食べ物ポケット、保育日誌で確認した。)</p> <p>育児相談を実施したり、給食だよりを保護者に配布することで、家庭と協力して習慣を身につけられるようにしている。(給食だよりで確認した。)</p>

大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>感性豊かな心が育つよう季節やイメージのふくらむような歌をうたっていく。</p> <p>自然豊かな地域性を活かし、安全に留意し散歩を取り入れている。</p> <p>命の大切さが伝わるよう動植物を育てていく。</p>	<p>各年齢別に、季節を感じられる年間の歌の内容を決めている。手遊び紹介の掲示物で、内容を保護者にも伝えている。(掲示物の内容や、年間計画、写真で確認した。)</p> <p>自然に恵まれた環境を活かし、乳幼児クラスとも、近くのはらっぱや農道へ散歩に出掛けている。(保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>「ものしりはかせ」のタイトルで、保育室内に、生物に関する子ども向け情報コーナーを設けている。(情報コーナーの内容で確認した。)</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>延長保育を個々にふさわしい家庭に近い雰囲気や心がけ実施している。</p> <p>統合保育を関係機関と連携し実施している。</p> <p>産休明け保育では、担当制や少人数で安全に配慮し保育を実施している。</p>	<p>19時までの延長保育は、1階の3歳児クラスの保育室を使用し、0～5歳児までの合同保育を行っている。(延長保育日誌や、写真で確認した。)</p> <p>障害を持つ子ども(1名)も、オープン保育の中で、保育士が1対1で関わりながら、保育を行っている。(主治医からの手紙で、医師からの注意点に留意していることを確認した。)</p> <p>人見知りをする時期でもあるので、担当制や少人数で保育を行っている。(すくすくコーナーの記録等で確認した。)</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>アレルギー疾患を持つ園児に対して医師の診断書をもとに保護者と話し合って確認をし毎月献立の見直しをしている。</p> <p>離乳食は月齢の目安と発育、体調に合わせてすすめている。</p> <p>保護者の申し出により、宗教などに個別対応をしている。</p>	<p>アレルギーのある子どもには、個別に対応している。他の子どもの食事と、見た目が同じようになるよう配慮している。(除去食用個別献立表や、訪問当日のおやつの内容で確認した。)</p> <p>離乳食については、保護者と連携し実施している。離乳食は保護者にも渡し、家で試してもらっている。(離乳食食材表等で確認した。)</p> <p>保護者が外国人の子どもに対して、豚肉関係の除去を調理室に掲示し、宗教に配慮した取り組みを行っている。(除去食表示等で確認した。)</p>

<p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>食物を栽培しクッキングにつなげ食べ、成長していくという食の一連の営みを伝えている。</p> <p>ランチルームで異年齢児と共に楽しい食事をする。</p> <p>食育ボードで、食物の体への働きを知る。</p>	<p>乳幼児クラスとも、食育目標を立てている。育てた野菜で、カレー作り等を行っている。(食育目標や、園だより等で確認した。)</p> <p>ランチルームでの異年齢交流は、年下の子にルールを教えたり、年上の子の行動に刺激を受けたりして、関係が深まっている。(ランチルームの様子や、保育日誌、写真で確認した。)</p> <p>食育ボードの食べ物ポケットを見ることで、食物の身体への働きを、目で学ぶことができている。(ランチルームの様子や、食育ボードの内容等で確認した。)</p>
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>懇談会、公開保育、個人面談を実施している。</p> <p>情報コーナーを充実させ、タイムリーに保育園の生活を伝えている。</p> <p>送迎時に口頭や各クラスの掲示板で保育園の生活の様子を伝えている。</p>	<p>懇談会は年に2回、個人面談は進級時に実施している。希望があれば随時面談を行い、意見、意向を聞いている。(個人面談記録等で確認した。)</p> <p>情報コーナー「おおさわひろば」にて、保育園の様子を伝えている。(情報コーナーの内容で確認した。)</p> <p>ホワイトボードだと前日までの情報が消えてしまうため、保護者への掲示物は、紙ベースで何日か分を綴るようになっている。また、時間帯によって、掲示場所を変え、保護者の多くが確認できるように工夫している。(各クラスの掲示物で確認した。)</p>
<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>園の行事へ地域の人が参加する事業や、園の保育を親子で体験する事業を行なっている。</p> <p>近隣の保育園や、民間の保育園との合同の育児教室や、園独自としても公民館で毎月育児教室を開催している。</p> <p>コミュニティグループの活動の相談を聞いたり、時には参加し手遊びなどの指導をしている。また、こどもセンターの事業で親子遊びを伝えるなど、地域で楽しい子育てができるよう支援している。</p>	<p>年間計画を立て、地域交流や体験保育、親子サロン等の活動を行っている。(地域活動報告書等で確認した。)</p> <p>2園合同の「いっしょにあそぼう」や、3園合同の育児講座「おれんじきつず」等を開催している。(共催事業のポスター等で確認した。)</p> <p>地域の育児サークルの誕生会に参加し、手あそびの指導をしたり、育児教室「プチトマト」を開催している。(地域活動報告書や、写真で確認した。)</p>